

2010 AUTOBACS SUPER GT 第1戦 SUZUKA GT 300km RACE

2010年3月20日(土)~3月21日(日)

予選 レポート

場所: 鈴鹿サーキット / 天候: 晴れ / 気温: 17°C / 観客動員数: 22,000 人

2010 SUPER GT 第1戦の予選が行われる鈴鹿サーキットはこの日、好天に恵まれた一日となった。シーズン前にマシンの熟成に努めたチームは万全の態勢で午前中の練習走行に臨んだ。

3月20日(土)

午前 9 時、公式練習走行はスタートし各マシンがピットアウトして行く。山野が先発をつとめ 4 台目にコースに出て行く。山野は無線チェックをしながらゆっくりと1周しピットに戻る。その後、予め決まっているメニューに従い淡々と周回を重ねる。これといったトラブルは無く 2' 10 秒台で走行。

1 時間を過ぎたところでドライバーより無線で「左サイドより煙」との連絡。すぐにピットインさせて確認したところ、エキゾーストに近いオイルラインが熱で焦げているのが見付き修復作業に移る。

午前 11 時、修復が終わり再びコースへ。この時点でトップ車両は 2' 07 秒台で走行、この 1 時間はチームにとって非常に辛い。

午前 11 時 20 分、今年から密山に代わって第二ドライバーを務める佐々木孝太にチェンジしセット変更を繰り返すが、やはりタイムが上がらない。二人とも車両前側の挙動不安定を気にしている。チームは必死のセットアップを試みるがタイムアップにはつながらない。結果、ベストタイムは 2' 10.9 秒。トップとは 4 秒の差がある。

午後 1 時 15 分、1 回目の予選がスタートした。まず山野がアタックを務め、佐々木も予選タイム 107% をクリア

しなければならない。山野は 3 周目にアタックに入るがやはりタイムが伸びない。午前中の 1 時間のロスがやはりセットにひびいている。

佐々木も問題なく 107% をクリアしたので、チームは 2 回目の予選に向けてセットを詰めていく。



午後 3 時、2回目の予選開始。今回の予選方式はノックダウン方式、すなわち 1 セッション目で上位 16 台に絞られ次のセッションに進む。何とか 1 セッション目を通過したい。山野はアタックに入るがタイムが伸びない。やはり車両の挙動が不安定である。

結果は 17 位。不本意な結果で予選は終了した。

なお、ポールポジションは#7M7 MUTIARA MOTORS
雨宮 SGC 7 が獲得した。



■本島監督コメント



今回のレースに向けてやれる事は全てやってきたつもりでした。

正直残念な結果です。しかし明日のレースは待ってくれません。LEGACY B4 の活躍を楽しみに多くのスバルファンが明日来てくれると思うと、とにかく今から出来ることを全て行い、明日1台でも多くの車を抜けるレースを見て頂けるよう全員で頑張ります。

予選終了後、車両再検査によりRRウイングの高さが規定より1ミリ高く予選タイム末梢の裁定を受けました。ギリギリのセットを追及する中での結果ではあったが、関係各位また応援して下さいの方々にご迷惑をおかけし、チームとしては今回の結果を深く受け止めておりますし、今後このような事が無いように努力致します。

予選の詳細に関しては SUPER GTホームページ <http://supergt.net/jp/>

またSUBARUモータースポーツニュース <http://www.subaru-msm.com/news/> もご覧ください

2010年3月25日
SUBARU LEGACY B4
TEAM アールアンドデースポーツ
<http://www.rdsport.net/>



www.rdsport.net